

令和元年度 事業報告書

（ 自 平成 31 年 4 月 1 日 ）
（ 至 令和 2 年 3 月 31 日 ）

一般社団法人 日本アルミニウム合金協会

令和元年度 事業報告書

(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)

令和元年度の日本経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱い中で、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に穏やかに回復しておりましたが、消費税増税後は自動車の国内販売が減速するとともに四輪車の輸出も落ち込んで、弱さが一段と増したことなどに加え、年度末になって、新型コロナウイルス感染症の影響により足下で大幅に下押しされており、厳しい状況になりました。

この様な経済環境の中で、アルミニウム産業界におきましては、圧延品関係では自動車向けにやや堅調な動きがあったものの、缶材、建設関係とも前年度より減少し、アルミニウム製品総需要は4年ぶりに減少することとなりました。

当アルミニウム合金業界におきましても、海外経済の減速による我が国の自動車メーカーの海外生産の減少に加え、年度末の新型コロナウイルスの影響により、主力の自動車向け鋳物・ダイカスト需要が大きく減少することとなりました。

この様な情勢のもとで、当協会と致しましては、経済・環境問題等の変化に対応する施策、情報の収集・早期伝達並びに技術の向上に努めて参りました。

令和元年度における事業活動の概要、会員の異動状況及び会議の開催状況は、次のとおりであります。

1. 事業活動の概要

1.1 統計調査事業(公益目的事業1)

(1) 統計調査事業

会員会社、関係機関等の協力を得て、アルミニウム合金事業に関する産業動向を把握するため、以下の調査を行い、原則として月毎に統計資料としてとりまとめ、当協会ホームページ上で発表するとともに、会員会社、プレス、関係機関に情報提供を行いました。

- ① アルミニウム二次合金地金・同二次地金の生産、出荷及び原料消費等
- ② アルミニウム地金、アルミニウム合金地金、アルミニウムくず及び金属珪素輸入通関実績及びアルミニウムくず港別輸出通関実績
- ③ 国内アルミニウム二次合金地金・同二次地金及び鋳物・ダイカスト用アルミニウム合金地金(一次合金)需要
- ④ 当業界に関連のある統計資料

(2) 需要見通し策定事業

令和2年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金及び鋳物・ダイカスト用アルミニウム合金地金(一次合金)需要見通しを策定し、会員会社、プレス、関係機関に配布するとともに、当協会ホームページ上にも掲載致しました。

(3) 海外の関連機関との情報・資料交換事業

毎月、EAA(欧州アルミニウム協会)及び中国有色金属工業協会再生金属分会と日本、欧州、中国におけるアルミニウム二次合金地金・同二次地金の生産、原料状況等の情報交換を行い、欧州における統計資料は当協会電子版機関誌「J.A.R.A.ニュース」に掲載致しました。

1.2 技術研究調査事業(公益目的事業2)

1.2.1 技術研究調査事業

(1) 規格・基準等の研究調査

当業界に関連のある海外規格について調査・検討を行いました。

(2) ダイオキシン類等の環境対策に関する研究調査

- ① 平成30年における当業界(アルミニウム第二次精錬・精製施設)のダイオキシン類排出インベントリーのフォローアップを行いました。
- ② 環境省が実施するHCB、PCB、PeCB及びPCNの排出実態調査に協力するとともに、環境省主催の「非意図的生成のPOPs 排出抑制対策検討会」に出席し、情報収集に努めました。

(3) 省エネルギーに関する研究調査

エネルギー消費状況等のアンケート調査(4回)を行い、調査結果を会員会社等へ配布するなどして業界におけるエネルギー消費原単位の低減化に努めました。

(4) (一社)日本ダイカスト協会との共同研究調査

本共同研究では、一段の高延性が得られる非熱処理型合金として近年欧州ダイカスト市場で積極的に活用されてきているAl-Mg系合金をとりあげて、その使いこなし技術、製造技術について研究を行ってまいりました。その結果、十分なフラックス処理と溶湯品質の確認が必要となるものの、目標とすべき機械的性質を持つ合金が見出されました。

令和元年度は、上記合金を用いて、実際に使用された製品と同等の形状での実機実験等を行い、今後の実用化に向けた諸問題の検討を行いました。

(5) 最新技術に関する研究調査

下記のとおり、技術委員会にて見学会を実施し、知見を深めました。

【見学会】

見学場所 日軽松尾(榊)小牧工場

1.2.2 技術書出版事業

(一社)日本ダイカスト協会との共同研究の成果をとりまとめた報告書を、会員会社等へ頒布致しました。

1.2.3 標準試料作製・頒布事業

- ① これまでに作製した下記分析用標準試料を会員会社等へ頒布致しました。

平成26年度作製試料 AD12-B (Cd 30ppm、Ca 20ppm入り)

平成30年度作製試料 AD12-C (Cd 30ppm、Ca 50ppm入り)

② 次回の分析用標準試料の製作のための型の検討を行いました。

1.3 普及啓発事業(公益目的事業3)

1.3.1 技術検定事業

令和2年度の三級溶解技能者認定試験の実施に向けて、講習会で使用するテキストの見直し作業を行いました。

1.3.2 作業安全・衛生に関する研究調査事業

当業界における「労働災害16事例」を編集し、会員会社等へ配布するなどして業界の労働災害の減少に努めました。

1.3.3 広報事業

(1) 当協会ホームページ

多くの方にご利用頂くため、より多くの情報を発信し、見やすさと快適さ、情報の充実に努めました。

(2) 電子版機関誌「J. A. R. A. ニュース」

電子版機関誌「J. A. R. A. ニュース」を当協会ホームページ上に毎月掲載致しました。

(3) プレスリリース

毎月の生産実績等の統計資料及びプレスリリースを随時作成し、配信致しました。

(4) 非鉄金属7団体で構成する「非鉄金属ネットワーク協議会」(略称：ネット7)

非鉄金属の魅力を知ってもらうためのサイト「メタルワンダーアベニュー」に、当業界で活躍する「先輩の声」や学生を対象とした「工場見学情報」を引き続き掲載致しました。

1.4 一般事業

1.4.1 顕彰事業

(1) 高橋記念賞

アルミニウム合金地金・同二次地金製造に携わり、技術の向上及び進歩発展等に寄与した現場の技能者9名に対し、高橋記念賞を授与致しました。

(2) 労働安全優良事業場表彰

労働安全について優秀な成績をあげた4事業場に対し、表彰(特別賞：2事業場、優良賞：2事業場)を行い、労働安全への努力を促進致しました。

1.4.2 会員の交流事業

(1) 懇親会

会員会社及び関係機関との親睦を深めるため、以下の懇親会を開催致しました。

① 定時総会後の懇親パーティー

令和元年 5月15日(水) 霞山会館

② 7月の理事会後の懇親会

令和元年 7月17日(水) 屋形船 あみ春

③ 1月の理事会後の賀詞交歓会

令和2年 1月21日(火) 霞山会館

④ 会員懇親ゴルフ会

令和元年10月19日(土) オークヒルズカントリークラブ

令和2年 3月28日(土) に茨木カンツリー倶楽部で開催を予定していた会員懇親ゴルフ会は、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して中止しました。

(2) 懇談会

関連団体との連携を深めるため、以下の懇談会を開催致しました。

① 軽金属同友会との懇談会

令和元年10月18日(金) 当協会会議室

② 経済産業省金属課長との懇談会

令和元年11月20日(水) 当協会会議室

③ 日本アルミドロス協議会との懇談会

令和 2 年 2 月 1 9 日(水)当協会会議室

2. 会員の異動状況

(1) 会 員 数

期 首	正 会 員	24 社
	賛助会員	14 社
	計	38 社
期中入会	正 会 員	0 社
	賛助会員	0 社
	計	0 社
期中退会	正 会 員	0 社
	賛助会員	0 社
	計	0 社
期 末	正 会 員	24 社
	賛助会員	14 社
	計	38 社

3. 会議の開催状況

定時総会、理事会、理事懇談会、会長・副会長会議、部会・委員会の開催回数は次のとおりであります。

- (1) 定 時 総 会 1 回
- (2) 理 事 会 8 回
- (3) 理 事 懇 談 会 1 回
- (3) 会 長 ・ 副 会 長 会 議 10 回
- (4) 部 会 ・ 委 員 会
 - ① リサイクル部会 1 回
 - ② 総務委員会 2 回
 - ③ 技術委員会 10 回

((一社)日本ダイカスト協会との合同委員会であるダイカスト用アルミニウム合金委員会 4 回を含む。)

- ④ 需給・原料委員会 1回
- ⑤ 労務委員会 1回

3.1 第45回定時総会

開催日 令和元年5月15日
会場 霞山会館
正会員総数 24名
出席正会員 本人出席 13名 } 22名
委任状出席 9名 }
議案 5件承認

- (1) 議事録署名人選任に関する件
- (2) 平成30年度事業報告並びに決算報告に関する件
- (3) 令和元年度入会金額並びに会費賦課基準に関する件
- (4) 令和元年度事業計画案並びに収支予算に関する件
- (5) 理事及び監事辞任に伴う選任に関する件

3.2 会長・副会長会議

- (1) 定時総会時 令和元年5月15日 霞山会館会議室

3.3 理事会及び会長・副会長会議

- (1) 第368回理事会 平成31年4月17日 当協会会議室
- (2) 第369回理事会 令和元年6月19日 当協会会議室
- (3) 第370回理事会 令和元年7月17日 当協会会議室
- (4) 第371回理事会 令和元年9月18日 当協会会議室
- (5) 第372回理事会 令和元年11月20日 当協会会議室
- (6) 第373回理事会 令和2年1月21日 霞山会館会議室
- (7) 第374回理事会 令和2年2月19日 当協会会議室
- (8) 第375回理事会 令和2年3月27日 AP大阪淀屋橋会議室

3.3 理事懇談会及び会長・副会長会議

- (1) 理事懇談会 令和元年10月18日 当協会会議室

3.4 部会・委員会

(1) リサイクル部会

- ① 第101回リサイクル部会 令和元年6月28日 当協会会議室

(2) 総務委員会

- ① 第116回総務委員会 平成31年4月9日 当協会会議室

- ② 第117回総務委員会 令和2年3月3日 当協会会議室

(3) 技術委員会・ダイカスト用アルミニウム合金委員会

- ① 第133回ダイカスト用Al合金委員会 平成31年4月17日 東芝機械会議室

- ② 第250回技術委員会 令和元年5月28日 当協会会議室

- ③ 第134回ダイカスト用Al合金委員会 令和元年7月5日 当協会会議室

- ④ 第251回技術委員会 令和元年7月18日 当協会会議室

- ⑤ 第252回技術委員会 令和元年9月9日 当協会会議室

- ⑥ 第135回ダイカスト用Al合金委員会 令和元年10月15日 東芝機械会議室

- ⑦ 第253回技術委員会 令和元年11月8日 日本軽金属
苫小牧製造所会議室

- ⑧ 第136回ダイカスト用Al合金委員会 令和2年1月20日 ダイカスト協会会議室

- ⑨ 第254回技術委員会 令和2年1月29日 当協会会議室

- ⑩ 第255回技術委員会 令和2年3月26日 当協会会議室

(4) 需給・原料委員会

- ① 第10回需給・原料委員会 令和2年3月2日 当協会会議室

(5) 労務委員会

- ① 第86回労務委員会 令和2年3月23日 当協会会議室

令和元年度正味財産増減計算書総括表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	A 令和元年度予算額	B 令和元年度決算額	A-B 増 減 (予算)	備 考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取入会金	0	0	0	
②受取会費	38,352,000	38,352,000	0	
正会員受取会費	35,832,000	35,832,000	0	
賛助会員受取会費	2,520,000	2,520,000	0	
③事業収益	610,000	646,385	△ 36,385	
技術検定事業収益	0	0	0	
研修会収益	50,000	100,000	△ 50,000	
標準試料収益	480,000	534,000	△ 54,000	
その他の事業収益	80,000	12,385	67,615	
④受取寄付金	150,000	150,000	0	
⑤雑収益	10,000	977	9,023	
経常収益計 (A)	39,122,000	39,149,362	△ 27,362	
(2) 経常費用			0	
事業費			0	
人件費	21,100,600	15,966,726	5,133,874	
給料手当	17,551,600	13,205,800	4,345,800	
法定福利費	2,700,000	1,986,906	713,094	
役員退職慰労金	0	0	0	
役員退職慰労給付費用	500,000	500,000	0	
退職給付費用	209,000	209,000	0	
福利厚生費	140,000	65,020	74,980	
一般経費	17,337,624	14,669,946	2,667,678	
旅費交通費	600,000	369,110	230,890	
通勤費	840,000	628,220	211,780	
通信運搬費	500,000	351,508	148,492	
印刷製本費	700,000	371,354	328,646	
リース料	870,000	853,200	16,800	
光熱水料費	580,000	546,672	33,328	
賃借料	4,680,440	4,687,608	△ 7,168	
諸謝金	1,282,000	1,283,650	△ 1,650	
消耗品費	90,000	60,987	29,013	
会議費	285,000	136,214	148,786	
調査費	1,080,000	921,122	158,878	
外注費	1,880,000	1,407,954	472,046	
負担金	316,000	254,228	61,772	
総会費	1,050,000	1,038,784	11,216	
正・副会長会議費	65,000	48,836	16,164	
理事会費	300,000	190,339	109,661	
新年会費	700,000	348,005	351,995	
総合対策費	215,000	61,480	153,520	
労働安全表彰費	210,000	197,949	12,051	
高橋記念賞費	170,026	135,228	34,798	
家賃更新料	387,050	387,050	0	
租税公課	70,000	70,000	0	
雑費	460,000	313,340	146,660	
減価償却費	7,108	7,108	0	
予備費	500,000	0	500,000	
経常費用計 (B)	38,938,224	30,636,672	8,301,552	
当期経常増減額 (A) - (B)	183,776	8,512,690	△ 8,328,914	
当期一般正味財産増減額	183,776	8,512,690	△ 8,328,914	
一般正味財産期首残高	30,511,778	30,511,778	0	
一般正味財産期末残高	30,695,554	39,024,468	△ 8,328,914	
II. 正味財産期末残高	30,695,554	39,024,468	△ 8,328,914	

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流動資産			
現金預金	27,708,124	19,157,632	8,550,492
未収会費	32,000	0	32,000
未収金	0	0	0
前払費用	503,118	552,906	△ 49,788
貯蔵品	479,927	899,095	△ 419,168
流動資産合計	28,723,169	20,609,633	8,113,536
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
役員退職慰労引当預金	958,300	458,300	500,000
退職給付引当預金	6,966,850	6,757,850	209,000
変動準備積立預金	9,300,000	9,300,000	0
特定資産合計	17,225,150	16,516,150	709,000
(2) その他固定資産			
什器備品	5	5	0
建物附属設備	14,215	21,323	△ 7,108
電 話	4,000	4,000	0
敷 金	2,150,280	2,150,280	0
その他固定資産合計	2,168,500	2,175,608	△ 7,108
固定資産合計	19,393,650	18,691,758	701,892
資産合計	48,116,819	39,301,391	8,815,428
II. 負 債 の 部			
1. 流動負債			
未払費用	101,201	709,463	△ 608,262
前受会費	1,066,000	864,000	202,000
流動負債合計	1,167,201	1,573,463	△ 406,262
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	958,300	458,300	500,000
退職給付引当金	6,966,850	6,757,850	209,000
固定負債合計	7,925,150	7,216,150	709,000
負債合計	9,092,351	8,789,613	302,738
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産	39,024,468	30,511,778	8,512,690
正味財産合計	39,024,468	30,511,778	8,512,690
負債及び正味財産合計	48,116,819	39,301,391	8,815,428

財 産 目 録

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額	金 額
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金	79,608		
普通預金	25,704,667		
みずほ銀行上野支店	10,474,519		
三菱東京UFJ銀行上野中央支店	4,824,231		
三井住友銀行上野支店	9,338,217		
りそな銀行秋葉原支店	1,067,700		
郵便振替口座	1,009,781		
郵便局通常貯金	914,068		
(預金合計 27,708,124)			
)			
未収会費	32,000		
未収金	0		
前払費用	503,118		
貯蔵品	479,927		
4月分家賃・新聞代他			
標準試料			
流動資産合計		28,723,169	
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
役員退職慰労引当預金	958,300		
三菱東京UFJ銀行上野中央支店	958,300		
退職給付引当預金	6,966,850		
三菱東京UFJ銀行上野中央支店	6,966,850		
変動準備積立預金	9,300,000		
みずほ銀行上野支店	3,000,000		
郵便局定額貯金	6,300,000		
特定資産合計	17,225,150		
(2) その他固定資産			
什器備品	5		
建物 附属設備	14,215		
事務所間仕切り			
電話	4,000		
敷 金	2,150,280		
その他固定資産合計	2,168,500		
固定資産合計		19,393,650	
資産合計			48,116,819
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 未払費用	101,201		
労働安全表彰費 他			
(2) 前受会費	1,066,000		
流動負債合計		1,167,201	
2. 固定負債			
(1) 役員退職慰労引当金	958,300		
(2) 退職給付引当金	6,966,850		
固定負債合計		7,925,150	
負債合計			9,092,351
正味財産			39,024,468